女性による「桐小たんす」ワークショップ（製作体験）の募集案内

期間　平成 31 年 2 月 8 日（金）午前 10 時～午後 6 時頃まで

場所　伝統工芸青山スクエア　〒107-0052 東京都港区赤坂 8－1－22
電話：03－5785－1001　FAX：03－5785－1002

主催　加茂箪笥協同組合

主旨＆目的

220 年以上の歴史を持つ**「加茂桐箪笥」**は、全国の桐たんすの生産量 70%以上のシェアを持っています。加茂桐箪笥の特徴は、原木仕入れから完成品まで一貫生産していることです。

桐たんすは、従来婚礼家具として使われ、親から子、子から孫へと伝えていく世界でも珍しい家具として、昔から高温多湿の日本に定着してきました。調湿性、気密性が高く、着物を仕舞う家具として有名です。火事や水害にも強く、**大事なものを収納する箱**として、最近では様々な用途に使われています。

また、桐の木は世界中に分布していますが、生活道具として使用しているのはほぼ日本人のみです。最近では、高級家具として海外にも評価が高く、「加茂桐箪笥」は日本の家具としてドイツ・フランクフルト、イタリア・ミラノ、フランス・パリ、中国・上海などの展示会に出品しております。

昔、娘が生まれると桐の木を植えて、結婚して嫁ぐ頃に桐たんすにして持たせるという風習が東北地方と新潟県にはありました。桐の木はとても成長が早い木です。元々ゴマノハグサ科（近年、**キリ科**が新設されました。）に属し、軽くて、柔らかいが、箱にすると堅牢になるのが、桐と桐たんすの特性です。

通常、女性が使う桐たんすを女性自ら作ることにより、桐のたんすをより身近に感じ、親しんで頂くことを目的とします。

内容　桐小たんすを産地加茂のタンス職人のマンツーマン指導により、実際にノコギリ、かんな、カナヅチ等の道具を使い、桐たんす製作を体験して頂きます。製作した桐小たんすは、製作後に体験者の所有となります。

桐小たんす　サイズ：間口 320×奥行 380×高さ 303mm
A4 サイズの書類が入る程度の総桐の小箱三段です。

※画像は、過去のイベント作業風景です。

募集人員　4 名

応募資格　**１８歳以上の女性**

参加費　5,000 円（当日徴収致します。）

応募方法　住所、氏名、電話番号、年齢を下記の申込み先に葉書、FAX 又は電子メールで直接お申し込み下さい。電話でのお問合せは可能ですが、電話でのご応募申込は受付できません。

応募締切　平成 31 年 1 月 28 日（月）お葉書で応募の場合は、当日必着でお願い致します。応募者多数の場合は、抽選により体験者を決定いたします。決定通知の連絡は、1 月 29 日（火）以降に体験者に通知いたします。

申し込み先

加茂箪笥協同組合　担当：茂野、石井
新潟県加茂市幸町 2-2-4（〒959－1313）
電話：0256－52－0445　　FAX：0256－52－0428
Email：tansukumiai@ginzado.ne.jp

女性による「桐小たんす」製作体験

<申込書>

平成　　年　　月　　日

※お名前

※年齢　　歳

※ご住所

※お電話

FAX　　E メール：

※動機

※は、必ず記入して下さい。

製作体験に応募します。

申し込み先

お申込みは、はがき、FAX、電子メールでお願い致します。

加茂箪笥協同組合

新潟県加茂市幸町 2-2-4（〒959-1313）

電話：0256-52-0445　FAX：0256-52-0428

Email：tansukumiai@ginzado.ne.jp